

地域密着型サービス運営推進会議報告

会議名称：令和 7 年度 第 2 回（6 月）運営推進会議

事業所名：阿児小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園

種 類：小規模多機能型居宅介護施設

日 時：令和 7 年 6 月 6 日（金）10：00～10：30

出席者

区分	人数	区分	人数
ご利用者代表		地域包括支援センター	
ご利用者のご家族		市役所職員	1
地域住民の代表	4	その他	
知見を有する者	1	事業者	2

【事業報告】

◇利用状況（令和 7 年 5 月 31 日時点）

登録者数 22 名（男性 6 名 女性 16 名） 平均年齢 85.8 歳 平均介護度 2.0

通いサービス 21 名（14.9 人/日）

訪問サービス 15 名（9.4 人/日）（15.5 回/日）

宿泊サービス 7 名（4.6 人/日）

新規 3 名（4 月 0 名、5 月 3 名） 中止 2 名（4 月 1 名、5 月 1 名）

阿児町 16 名（神明 9 名、鵜方 4 名、立神 2 名、甲賀 1 名、安乗 0 名）

磯部町 3 名 浜島町 2 名 大王町 0 名 志摩町 0 名

・障がいサービス（日中一時支援）現在利用者なし。

<状況>

・中止 2 名

（入院し退院後老健施設入所 1 名、新規で利用されるも支援の必要性がなくなり 1 名中止）

・全体的に身体機能、認知機能低下にて在宅生活が厳しくなっている方が多い。

・新規 3 名 3 名共に退院後、新規でサービス利用開始をされる。

【身体拘束】

・現在は行われていません。

【行事報告】

・5/25（日）立命館大学学生との交流 「60 歳からの人生ゲーム」

【職員研修】

- ・職員会議の際に実施。

4 月 接遇について 5 月 身体拘束について

【その他】

○5/8（木）浜島地域密着ケアセンターで開催のオレンジカフェに参加

○「60 歳からの人生ゲーム」

立命館大学の学生（永野ゼミ）さんが 60 歳から亡くなるまでの人生を体験できるゲームを開発しマサチューセッツ工科大学と連携した研究が実現しています。すごろく形式でこれからどのようなことが起こるのかを想像し、人生の終着点を考える取り組み。

60、70、80、90 歳代と年代別にすごろくがありゲーム感覚で質問に答えて考えていく。

【意見交換・要望等】

・人生ゲームと聞いたので楽しいものかと思ったが、資料をみるとエンディングノートに近い内容の質問があり途中で断念した方はいませんでしたか。

→断念した方はいなかったが、質問内容が難しい部分もあり職員が答えを導きだすことが必要であった。ゲーム途中には笑いもあり盛り上がって若い方のパワーをもらい刺激のある時間であった。

- ・色々と取り組みをされていてよいと思う。

<志摩市より>

- ・マダニの感染に注意をしてほしいです。もしもの時は体調の変化に注意をしてください。
- ・R7 年 6 月 1 日から職場での熱中症対策が義務化されましたので暑さ対策をお願いします。

次回運営推進会議日予定 令和 7 年 8 月 8 日（金）10：00～予定